

書かないスマート窓口

本人確認ができるマイナンバーカードや運転免許証などの提示と電子署名のみで、証明書発行手続きや、住民異動手続きの申請書を職員が聞き取って作成します。



沼沢 龍さん
(一の関)

▼問い合わせ／舟形町住民税務課住民係 ☎(32) 0211

役場での手続きというと、名前や住所や電話番号などを何度も書かなくてはならないイメージでしたが、書かないスマート窓口では質問に応え、タブレット端末に署名するだけです。また、自分のスマートフォンで事前に申請書を作っておくと、短時間で手続きができ、忙しい日は特に便利です。



タブレット端末で
各種手続き

デマンド型乗合タクシー予約システム

デマンド型乗合タクシーは、電話だけでなくスマートフォンアプリからも予約ができます。また、運行開始1時間前でも予約が可能です。



予約システムの
スマートフォンアプリ

▼問い合わせ／舟形町まちづくり課地域支援係 ☎(32) 0104

予約システムの開始と同時に、運行の1時間前までの予約が可能になったこと、また町内便に午前10時便が増便されたことで利用する方が増えました。お客様からは使いやすくなったという感想をいただきます。町内便は片道300円、県立新庄病院往きの町外便は500円で乗合タクシーに乗れるので、お気軽にご利用ください。



(有)星川タクシー
星川美穂子さん

公開型GIS ふなっぴ

公開型GIS「ふなっぴ」を使えば、地図上で町の各種情報を確認できます。



管内図と施設情報



総務課デジタルファースト推進室
主任 伊與田大夢

▼問い合わせ／舟形町総務課デジタルファースト推進室 ☎(32) 0818

ふなっぴを使えば、ハザードマップや施設の情報、町の管内図などを地図上で確認できます。また、管内図はこれまで役場で販売していましたが、ふなっぴ上から無料でダウンロードできるようになりました。必要な場所の地図だけを切取って保存もでき、各種情報と合わせた見やすい地図が作れるので、とても便利です。

便利さを実感！ デジタルのちから

町は「第7次舟形町総合発展計画」の短期アクションプランの重点プロジェクトに人口減少にも対応した「先進的少数社会」の実現に向けて「デジタルファーストプロジェクト」を掲げています。このプロジェクトでは、「舟形町デジタル化推進計画（前期）」が策定されており、現在は令和7年度から推進される後期計画の策定に向けた検証が進められています。

計画策定は、次の3つの基本目標に沿って進められています。

基本目標1 町民サービスの向上・地域活性化のためのデジタル化

基本目標2 行政効率化のためのデジタル化

基本目標3 地域の安心・安全のためのデジタル化

国で定めた「デジタル田園都市国家構想」に基づき、町はデマンド型乗合タクシー予約システム、書かないスマート窓口、公開型GIS「ふなっぴ」、セミセルフレジなどを導入しています。今回は実際に利用された方の声を聞いてみました。

セミセルフレジ

これまで各種手数料や使用料などの公共料金は全て会計室で支払われていましたが、セミセルフレジの導入により各種証明書発行の申請手続きから支払いまで住民係窓口で完結できるようになりました。また、会計室窓口にも設置し、各種税金・保険料・使用料などの支払いもよりスムーズになりました。



樋渡 雄太さん
(舟形第3)

▼問い合わせ／舟形町住民税務課住民係 ☎(32) 0211
舟形町会計室 ☎(32) 2111内線 (361)

これまで、証明書などの発行は住民税務課、支払いは会計室、と分かれていたのが、特に急いでいるときには不便に感じることもありました。セミセルフレジが導入されたことにより、その場で支払いまででき、支払い方法も現金に加えクレジットカードや電子マネーで支払うこともできるので便利です。



住民係窓口を設置された
セミセルフレジ